**第１２０号（令和４年１２月発行）**

視障センターだより

**目次**

1. **所長雑感・・・・・・・・P．２**
2. **センターからのお知らせ・P．６**

**３．点字図書の紹介・・・・・P．１１**

**４．デイジー図書の紹介・・・P．１５**

**５．おすすめの録音図書・・・P．１７**

**６．おすすめの点字図書・・・P．１８**

**７．休館日のお知らせ・・・・Ｐ．１９**

**編集後記・・・・・・・・・P.２０**

**製作・発行：宮崎県立視覚障害者センター**

**〒880-0051　宮崎市江平西2丁目1-20**

**電話　事務室　0985－22－5670貸出係 0985－35－5116**

**FAX 0985‐38‐8730　HP**[**http://www.miyashishou.jp/**](http://www.miyashishou.jp/)

**１．所長雑感**

**冨永　昌志**

**皆様いかがお過ごしでしょうか。私が今書いておりますのは１０月１５日です。ようやく秋らしい気候になってきました。猛威を振るった新型コロナ第７波も徐々に下火になり、最近はほっと一息といったところです。**

**個人的なことで恐縮ですがコロナといえば、私、感染してしまいました。８月２５日、家内が熱が３８度あるというので、検査に行くようにと言っておりましたら、その日の夜に私も喉の痛みと微熱で、２６日には二人そろって陽性となったのでした。幸い軽症ですみましたが、１０日間の自宅療養となり、毎朝保健所からメールが来て、体温などを報告しなくてはなりません。当然外出はできませんので、やはりうっとおしい気分の毎日でした。思うに、ワクチン４回接種しているし、自分は大丈夫と過信していたと思います。センターの皆さんにも迷惑をかけましたが、おかげさまで今はすっかり元気になりました。**

**コロナ感染症は、時として重症化したり後遺症が出るなどの場合がありますので、皆様十分にお気をつけいただきたいと思います。**

**９月に入ると、９月１８日（日）から１９日（月）にかけて史上最強クラスに発達した台風１４号が九州全体を巻き込みました。本県でも大きな被害があったところです。皆様方の中にも、家の一部が壊れたりとか、断水や停電などの被害に遭われた方もおられたのではないでしょうか。**

**私は、清武町に住んでいますが家が壊れたりはなかったのですが、１８日の午後２時頃から１３時間にわたって停電しました。風が非常に強かったからでしょうか、長い停電となりました。最近停電はほとんどなかったので、困りました。当然、電気製品、インターネットは使えません。スマホはありますが、充電ができません。そしていつ復旧するのか全くわかりません。近所の人が九電に電話されたそうですがわからず、とにかく待つしかない状況でした。そうなると、このままだと今度は断水するのではないかとか、不安になってきます。その日は、することもなく早々と寝ました。**

**九電の方々が夜を徹して復旧に当たってくださったのでしょう、朝方の３時に突然復旧しました。ふと気が付くと、暴風もだいぶ静かになっていました。冷蔵庫が動き出し、テレビや電話機などが音を立て始めると普段の生活に戻ってほっとしました。１３時間くらいですんで良かったのですが、もっと何日も停電したり、断水したり、あるいは孤立してしまった地区などもあったわけですから、それは大変なことだったと思います。ライフラインの重要さを再認識させられたところでした。**

**さて、本日１０月１５日の午前中、明星視覚支援学校の文化祭があり、お招きをいただきましたので、見学してきました。とてもすばらしかったので、ご紹介したいと思います。**

**文化祭は作品展示とステージ発表に分かれています。**

**ステージの部では、幼稚部、小学部、中学部、普通科、理療科それぞれが日頃の勉強や練習の成果を発表してくれました。**

**最初は小学部の子供たちで「海の中の物語」という、魚に扮した子供たちが神様から出されるいろんな課題をクリアして人間になるというファンタジー劇がありました。子供たちはキーボードの演奏や歌唱、数字の暗算、日本の歴史の問題、パソコンのタイピングなどどれも難しい課題を次々と克服していきます。みんな一生懸命に練習してきていることがよくわかります。最後に全員でダンス、小学生のパワー全開ではじけていました。**

**次は幼稚部の２人の子供による「幼稚部の一日」を表現した発表がありました。２人は日頃の運動や遊びなどを元気いっぱい、のびのびと表現してくれました。また規律ある動きなどもよくできていて、先生方のご指導の成果も感じられました。**

**次は中学部です。４人の生徒が熊本の「クマモン」と宮崎の「宮崎犬」になって、両県の比較をするという学習発表です。熊本県のおいしい食べ物は、「だご汁」「植木のスイカ」「ムツゴロウ」、宮崎は「冷や汁」「日南のキンカンタマタマ」「メヒカリ」そのほか歴史や観光スポットなど、聞いてて楽しく、勉強になりました。**

**高校生普通科の発表は、「ＦＭ明星チャンプルー」と題して、３人の生徒がＦＭラジオの放送局になって沖縄県の紹介をしてくれました。**

**沖縄と宮崎の視覚支援学校は縁があり、沖縄盲学校は、約９０年前、宮崎出身の視覚障害者高橋福治という先生が沖縄には盲学校がないと聞いて単身沖縄に行かれ、苦労の末に創立されたという歴史があり、今でも高橋先生は沖縄で尊敬されており、宮崎とも交流があるとのことです。**

**また沖縄には、琉球王国や、戦争後のアメリカ統治、１９７２年の日本復帰と、複雑な歴史がありますし、若者の心を引き付ける音楽もあります。**

**３人は若者の目線で、沖縄の音楽を流しながら琉球王国や首里城、そして戦争の歴史などを紹介してくれました。３人で歌った「オレンジレンジ」かっこよかったです。**

**そして最後は理療科の音楽ライブでした。楽しいＭＣとすばらしいギター・歌声で、「パプリカ」や「負けないで」などを演奏、みんなで大いに盛り上がりました。**

**児童・生徒たちは自分たちも楽しみながら、とても楽しく発表をしていて、しかも日頃の勉強の成果をしっかり出していました。また、幼稚部から理療科まで、まるで大きな家族のようでもあります。年少の子たちは、お兄さんやお姉さんの発表の様子をしっかり見て聞いています。**

**おそらく、上級生の発表を次の目標に成長していくのだろうと思いました。**

**児童・生徒の皆さん、そして先生方お疲れさまでした。この立派な文化祭がいつまでも続くことを願っております。**

**長くなりましたが、皆様これからもお元気にお過ごしください。それでは、今後ともよろしくお願いいたします。**

**２．センターからのお知らせ**

**（１）１２月・１月のＩＴ相談会の日程について**

**アイフォン、アイパッド相談会は１２月３日（土）、１月７日（土）に実施します。時間は１０時から１２時です。**

**パソコン教室は、１２月１８日（日）、１月２９日（日）の午後１時半から３時半まで実施します。いずれも事前にお申し込みをお願いします。**

**いずれの日程にも来ることができない方で、相談がある場合は大賀までお電話ください。**

**（２）かんたんスマホ講座開催中です**

**１０月号のセンターだよりでもお知らせしていましたが、デジタル庁のデジタル活用支援事業の一環として、当センターで「かんたんスマホ講座」を開催しています。こちらの講座は単年度の事業で１月まで実施します。**

**基本的には毎週火曜日、そして１２月は３日（土）と１８日（日）にも１０時から１２時まで開催します。平日が無理な方もこうした機会に気軽にどうぞおいでください。**

**はじめの１時間はテーマに沿った内容で、あとの１時間はそれぞれの方の利用に関する相談をお受けしています。この講座は初心者向けに実施しており、見えなくても使いやすい声での操作を中心にすすめています。機材がなくてもかまいません。**

**詳しくは大賀までお尋ねください。**

**（３）エンビジョングラスを体験しませんか？**

**エンビジョングラスは視覚障害者支援アプリ「Envision AI」と連携して使用する視覚障害者向け高性能ウェアラブル端末です。本体にはカメラと小型ディスプレイ、スピーカーが搭載されており、エンビジョングラスを掛けた状態で、カメラに映る文字や物の名前を読み上げたりすることが可能です。メガネ型のため、手で機器を持たずに使用できます。**

**このエンビジョングラスは都城市や宮崎市でも日常生活用具として認められています（ただし両市の種目は異なっていて、補助額も違います）。**

**このエンビジョングラスをメガネのヨネザワさんが、借り受けてくださり、体験会を開催することにしました。**

**日時：１月２２日（日）点字オセロ大会と同日**

**時間：１部　９時から１０時半（個別対応予約制）**

**２部　１０時半から１２時（グループ対応フリー）**

**なお、この製品の全ての機能を使用するにはネットワーク接続とEnvisionアプリ（Envision AI)をインストールしたスマートフォン等が必要です。詳しくは大賀までお問い合わせください。**

**（４）年末年始の図書貸出期間について**

**年末の貸出は１２月２４日（土）まで、年明けの貸出は**

**１月５日（木）からといたします。**

**なお、ほかの図書館が所蔵している図書は貸出の手配をしても、届くのに時間がかかります。土日祝日の配達も行われていないため、早めの貸出依頼をお願いします。**

**（５）図書係からのお知らせ**

**以下の資料が届きました。貸し出しますのでお電話ください。**

**・第89回 2021（令和3）年度全国盲学校弁論大会 全国大会 弁論集**

**・内閣府政府広報室発行「ふれあいらしんばん」（点字・大活字版）「明日への声」VOL．８７**

**・農林水産省発行「令和２年度食料・農業・農村白書のあらまし」デイジー版**

**・国税庁広報広聴室発行「私たちの税金」（令和４年度版）**

**点字版・拡大文字版・デイジー版があります。**

**（６）リンクポケット生産終了のお知らせ**

**シナノケンシ（株）より発売されているプレクストークリンクポケットは２０１１年に発売されて今年で１１年になりますが、製造に必要な主要電子部分が生産終了となり調達できなくなったため在庫をもって販売終了になりました。**

**なお、携帯型モデルとしての後継機はないそうです。修理は従来通り受付しています。**

**（７）福島智さんの半生が映画になりました**

**盲ろうの福島智さんの母と、そして福島さんの人生を描いた映画「桜色の花が咲く」が全国で上映されます。**

**福島さんは３歳で右目を、９歳で左目を失明し、１８歳で聴力を失いました。ご存じの方も多いかと思いますが、現在は東京大学先端科学技術研究センター教授でもあります。**

**映画は、福島さんを支えてきたお母さん令子さんや、「指点字」を生み出したお話、そして盲ろう者として日本で初めて大学に進学されたことなどが描かれています。**

**また映画のエンディングで流れるベートーベンピアノソナタ「悲愴」第２楽章は辻井伸行さんが演奏。バリアフリー字幕での上映やアプリ「UDキャスト」による音声ガイドもついています。**

**全国の上映は11月４日からですが、宮崎では調べたところ１２月２日（金）から宮崎キネマ館での上映予定となっています。ご覧になりたい方は念のためご確認ください。**

**宮崎キネマ館　電話　0985-28-1162**

**住所　宮崎市高千穂通1丁目178　カリーノTRUNK**

**（８）購買部からのお知らせ**

**【新商品】**

1. **ミスフランシスのクリップ6個入り　￥１，１００**

**開封した食品の袋や、においの気になるごみ袋など、袋の口を簡単に止めることができるクリップです。しっかりホールドし、乾燥、湿気、水漏れ、においをシャットアウトします。繰り返し使えるため環境にも優しいです。本体にはマグネットと、紐を通せる穴が空いているため、冷蔵庫に貼り付けたり、紐を通して吊るしたりすることができます。普通袋用3個・厚手袋用3個入りと普通袋用6個入りがあります。**

**②ソニー　ＦＭ／ＡＭラジオ　ＩＣＦ－Ｐ３７**

**￥５，９００**

**簡単操作のＦＭ／ＡＭラジオです。電源、ＦＭ・ＡＭ切り替えはスイッチ式、周波数と音量の調整はダイヤル式です。ワイドＦＭ（ＦＭ補完放送）対応。ワンセグ放送には対応していませんのでご注意下さい。イヤホン、ストラップ付属。大きさは幅約１３１．５ｍｍ、奥行き約４３．５ｍｍ、高さ約６９．５ｍｍ。重さは約２１０ｇ（電池含む）。電源は単３乾電池２本。**

**③パスケース　￥１，５００**

**二つ折りのパスケースで、内側にＩＣカードを合計２枚収納できます。紐通し用の金具付き。色は濃い茶色。　大きさは横幅約１１ｃｍ、縦約８ｃｍ、厚さ約０．５ｃｍ（折りたたみ時）。**

**④2023ユニバーサルデザインカレンダー 夜空に輝く動物たち**

**月めくり式の卓上兼壁掛け点字カレンダーです。点図デザインのテーマは、「夜空に輝く動物たち」です。点図により、夜空に輝く動物たちと星座が分かりやすく表現されています。**

**⑤しかさぽボード　￥１，９８０**

**書いて、消せるロービジョングッズのボードです。スケジュール管理に、メモに、様々な場面で使用できます。白黒反転の機能面を活かした商品です。光沢を抑えた黒のボードは「見やすさ」を意識しています。**

**問い合わせ先　しかさぽショップ　電話０９０-４９８９-３４３２**

**アドレス　https://shikasaposhop.com**

**【新しい見本品】**

**①ミズノケーン（直杖125ｃｍ）**

**②ポータブルスピーカー・・・イヤホンジャックに挿して使う。高音質で３ワット、最大４倍の音量で聴けます。**

**③深爪防止爪切り**

**④見やすい白黒定規（30ｃｍ）**

**⑤白杖グリップカバー（M）**

**⑥弱視用トランプ**

**購買の問い合わせは城後までお願いします。**

**３．点字図書の紹介**

**９　文学**

|  |
| --- |
| **深きより ― 二十七の聲　高橋睦郎　２巻　杉裕子点訳** |

**稗田阿禮、額田王から、蕪村、河竹默阿彌まで、古代から近世にいたる先人の霊をして、その詩心を語らしめる。日本語詩歌との長い歳月を結実させた、空前絶後の試み。〈三島由紀夫〉との交信・対話を付す。**

|  |
| --- |
| **犬のしっぽ、猫のひげ―豆柴センパイと捨て猫コウハイ　石黒由紀子　３巻　村井久美点訳** |

**食いしん坊でおっとりした豆柴女子・センパイが５歳になった頃、やんちゃで不思議ちゃんな弟猫・コウハイがやってきた。コウハイの緊急手術、突然やってきた老猫を看取ったこと、センパイのダイエット、２匹だけでの２泊３日のお留守番、震災への備え．．．．．．。２匹と２人の、まったり、時にドタバタな愛おしい日々を綴るエッセイ。**

|  |
| --- |
| **目の見えない私が「真っ白な世界」で見つけたこと―全盲の世界を超ポジティブに生きる　浅井純子　３巻　濱田千昌点訳** |

**３０年間、健常者として生きてきた。そして、１８年間、視覚障害者として生きている－。視覚障害者としての経験や気づき、考え方の変化、盲導犬との生活などをポジティブに語る。**

**２　歴史**

|  |
| --- |
| **東海道五十三次いまむかし歩き旅　高橋真名子　６巻　矢口貴子点訳** |

**名所旧跡、神話伝説、なつかしい風物、自然景観。関所を後に、峠を越えて－。東海道五十三次を歩き、街道と宿場に残されたたくさんの魅力をたどる。写真・図版を多数収録。**

|  |
| --- |
| **名利無縁―高千穂町岩戸、故郷を拓いた気骨の系譜　工藤寛　７巻　原田智美点訳** |

**世界農業遺産に登録されている棚田の里・岩戸（宮崎県高千穂町）。その美観をもたらしているのが山腹を切り拓く何本もの用水路。本書では同じく何人もの様々な人物が主人公になっている。その全員が名利も財も求めず、故郷のために全身全霊を投じて生きていた。気骨と信の人間群像が見事に描かれている。**

**３　社会科学**

**樺太アイヌ民族誌―その生活と世界観　大貫恵美子著　阪口諒訳　６巻　酒井美保点訳**

**アイヌは植物や動物とどのようにつきあっているのか。家の間取りや集落の位置にはどのような意味があるのか。樺太の北西海岸で生活していた人々への丹念な聴き取りによって、生活と世界観のすべてを描き出す。**

**あなたのルーツを教えて下さい　安田菜津紀　５巻　矢口貴子点訳**

**入管問題、ヘイトデモ……分断の先に１５人が見つめた「共に生きること」　フォトジャーナリスト・安田菜津紀は、一人ひとりの複数性やアイデンティティと向き合う取材を今も続けている。紛争から逃れ命がけの旅をした人、多文化な街を守ろうと声をあげてきた人、１５年かけて寿司屋を開いた人など、日本社会で共に生きる人々の姿を捉えた１５章。**

|  |
| --- |
| **わたしの体に呪いをかけるな　リンディ・ウェスト著　金井真弓訳　６巻　加藤恵子点訳** |

**体形をネタにしたネットの誹謗中傷、ジョークの皮をかぶった性暴力…。女性たちから人生を奪うこの社会のシステムを、全部蹴っ飛ばせ！　気鋭の批評家が自らの体験をもとに綴った、不屈のユーモアと怒りのフェミニズム戦記。**

**４　自然科学**

|  |
| --- |
| **いのちの秘義―レイチェル・カーソン『センス・オブ・ワンダー』の教え　若松英輔　２巻　矢口貴子点訳** |

**ささやかだけど、かけがえのないことが、世界を変えていく。　　環境問題の先駆者として名高い科学者レイチェル・カーソンが、愛する甥に遺した『センス・オブ・ワンダー』。その小さな本には、危機の時代を生きるための大きなヒントが詰まっている。**

|  |
| --- |
| **命のクルーズ　高梨ゆき子　５巻　髙木姫子点訳** |

**２０２０年１月、横浜を出港した豪華客船、ダイヤモンド・プリンセス号は、香港、ベトナム、台湾をめぐっていた。　　沖縄・那覇を経て、２月４日に横浜に戻る予定だったが、その直前、香港で下船した中国人乗客が発症したことが判明する。船内でも発熱した乗客が次々に医務室を訪れていた。　　しかし、そのとき、多くの乗客はまだ「異変」に気付いてはいなかった。**

|  |
| --- |
| **あの人も転んだ　この人も転んだ―転倒噺と予防川柳　武藤芳照著　日本転倒予防学会監修　２巻　矢口貴子点訳** |

**小林一茶、三島由紀夫、美川憲一など、歴史上の人物や著名人が、いつ、どこで、どのように転んだのかを列記し、その発生要因を探り、転倒予防の極意を伝える。「転倒予防川柳」大賞作品、転倒予防いろはかるたなども収録。**

|  |
| --- |
| **命は誰のものか　増補改訂版　香川知晶　６巻　黒木順子点訳** |

**現在、人間の生命をめぐって、どのような問題が生まれ、どのような議論があり、何が問われているのか。出生前診断、優生思想、尊厳死、脳死・臓器移植など生命倫理と呼ばれる様々な話題をとりあげ、考える手がかりを提供する。**

**４．デイジー図書の紹介**

**９　文学**

|  |
| --- |
| **ＴＡＣネームアリス　地の果てから来た怪物　下**  **夏見正隆　１６時間３１分　星平恵子音訳** |

**次期日銀総裁の駐スイス大使を乗せたジャンボに舞島ひかるは同乗していた。極秘に警護しているのだ。大使の急病のため、緊急着陸を要請するとそれを妨害する男たちが現れる。さらに国籍不明のＦ１５にロックオンされ…。**

|  |
| --- |
| **千代田区一番一号のラビリンス　森達也　１２時間３４分　岩切千恵子音訳** |

**天皇の生の言葉を引き出したいという熱情に突き動かされたドキュメンタリストが、象徴天皇制の本質に迫る番組企画を立ち上げる。そして、ついに企画実現の突破口を探り出し…。皇室を巡るタブーに一石を投じる問題小説。**

**０　総記**

|  |
| --- |
| **医者と僧侶二足のわらじ―いのちを見つめて　栗田正弘**  **１時間５１分　水間節子音訳** |

**内科の医師にして浄土真宗（高鍋町・称専寺住職）の僧侶である著者。３８編の短いエッセイの中に、医師として、また僧侶として悩み、考え、行動する著者の生き様が凝集している。**

|  |
| --- |
| **医者と僧侶二足のわらじ３―お浄土の光に照らされて　栗田正弘　１時間４９分　大冨順子音訳** |

**医師と僧侶の「二足のわらじ」を履く著者がいのちをみつめながら記すエッセイの第３弾。人の生と死に一番近い現場から「いのち」についての思いを綴り、生きることの意味を問う。医師・僧侶、それぞれの立場から綴った２９編を掲載。**

**３　社会科学**

|  |
| --- |
| **ウイグル人に何が起きているのか―民族迫害の起源と現在福島香織　８時間１分　委託・日ラ** |

**収容者数１００万人といわれるウイグル人の強制収容。中国共産党による弾圧の魔手は、いまや在日ウイグル人にまで及んでいるという。現地ルポとウイグル人へのインタビューから、２１世紀最悪の監獄社会の全貌を明らかにする。**

**４　自然科学**

|  |
| --- |
| **整体法の基礎　１９版　野口晴哉　８時間１５分　委託・日ラ** |

**人間は誰もが元気に生きる力を持っている。自分の体の構造を知り、その力を発揮できるようになるための啓発書。**

**５．おすすめの録音図書**

**全国で製作されたデイジー図書の中から、サピエ図書館での利用が多かった人気のデイジー図書を掲載しています。**

**（令和４年１０月１５日現在）**

**「あきない世傳金と銀１３―大海篇（完結）」　高田郁**

**「晩秋行」　大沢在昌**

**「禁猟区」　石田衣良**

**「熔果」　黒川博行**

**「暮らしのアイデアスイッチ―おどろくほど役立つ生活の知恵１３４」　ｓｏｅａｓｙ（ソー　イージー）**

**「風に訊け―空也十番勝負７」　佐伯泰英**

**「棘の家」　中山七里**

**「足腰は１分で強くなる！―毎日やれば寝たきりにならない」　高子大樹**

**「囮捜査官北見志穂３―荒川嬰児誘拐」　山田正紀**

**「子宝船―きたきた捕物帖２」　宮部みゆき**

**「死神と天使の円舞曲」　知念実希人**

**「竜崎とＳＴ」　今野敏**

**「真実はベッドの中に」　石持浅海**

**「忍者に結婚は難しい」　横関大**

**「任侠ショコラティエ」　新堂冬樹**

**「これが日本の正体！―池上彰への４２の質問」　池上彰**

**「［シネマ・デイジー］トップガン」　トニー・スコット監督　トム・クルーズ　ケリー・マクギリスほか出演　森川智之　安藤麻吹ほか声の出演**

**紀伊國屋書店店員さんおすすめの本**

**紀伊國屋書店店員さんがおすすめする 「キノベス！2022」という企画があるそうです。ほとんどの本は、過去にご紹介したものでしたが、面白そうな本がありましたのでご紹介します。**

**「自由研究には向かない殺人」　ジャクソン・ホリー著**

**服部京子訳**

**イギリスで大ベストセラーとなった謎解き青春ミステリーだそうです。音声・点字どちらも完成しています。**

**６．おすすめの点字図書**

**全国で製作された点字図書から１０冊紹介します。**

**「最新困ったときにすぐひけるマナー大事典」　現代マナー・作法の会編著　５巻**

**「一度読んだら絶対に忘れない英文法の教科書」　牧野智一　４巻**

**「知らないうちにメンタルが強くなっている―面白いように自信がつく「２１のきっかけ」」　 吉井雅之　２巻**

**「浮世小路の姉妹―文庫書下ろし・長編時代小説」　佐伯泰英　５巻**

**「世界を手で見る、耳で見る―目で見ない族からのメッセージ」　堀越喜晴　３巻**

**「余命一年の君が僕に残してくれたもの」　日野祐希　３巻**

**「にっぽん全国おみやげおやつ」　甲斐みのり　２巻**

**「ベビー・ウォーズ　ハーレクイン文庫」　ペニー・ジョーダン著　平江まゆみ訳　３巻**

**「ポンコツ女子、異世界でのんびり仕立屋はじめます」　栗栖ひよ子　４巻**

**「こころの違和感診察室―しっくりこない自分と折り合いをつける方法」　春日武彦　３巻**

**７．休館日のお知らせ**

**１２月・１月の休館日は、次のとおりです。**

**１２月　毎週水曜日　７日・１４日・２１日・２８日**

**１月　毎週水曜日　４日・１１日・１８日・２５日、９日**

**（月、成人の日）**

**１２月２８日～１月４日　年末年始休業**

**編集後記**

**西村 祐子**

**私のイチオシの作家は、森沢明夫さんです。**

**数年前に「虹の岬の喫茶店」という作品を読んでから、すっかり森沢ワールドに引き込まれてしまいました。エッセイを読むと、かなりやんちゃな一面もありそうな方ですが、インスタを見ると、風景や花の写真も多く、気持ちの優しい方なのでしょうね。**

**読み終える頃には、ホロリとくるような涙活にぴったりの作品が多いです。しかも他の作品とも、何かしら伏線で繋がっているのも魅力のひとつです。**

**ちなみに、「虹の岬の喫茶店」は、千葉県に実在する「岬カフェ」が舞台になっています。晴れた日には遠く富士山も見ることができるロケーションも素敵です。**

**いつか行ってみたいなぁ～！いや、絶対に行くぞ！と、人生もとっくに折り返した自分自身に言い聞かせながら、これからは、少しずつ時間の使い方も自分軸に切り替えながら、日々、楽しく過ごしていきたいです。**

県視障協ニュース

**目**　　**次**

**１．令和４年度第２回団体長会議** **Ｐ.２２**

**２．ＪＲ九州との意見交換会・・ Ｐ.２２**

**３．点字・オセロ競技大会のご案内 Ｐ.２３**

**４．点字カレンダーをいただきました**

**・・・Ｐ.２３**

**５．知育玩具「スマートエッグ」を寄贈いただきました・・・・・・・・Ｐ.２３**

**６．ウォーキング講座のご案内・・Ｐ.２４**

**７．１２月、１月、２月の行事案内**

**・・・Ｐ.２５**

**１．令和４年度第２回団体長会議**

**１０月７日（金）、日本視覚障害者センター研修室において標記会議が開催され、オンラインで参加しました。会議の主な議題は、下記のとおりです。**

**（１）障害者情報アクセシビリティコミュニケーション施策推進法について**

**（２）障害者総合支援法改正法施行後３年の見直しについて**

**（３）デジタル社会の実現に向けた取り組みについて**

**１２月には、この内容をまとめた資料が視覚障害者センターに届きます。**

**皆様一度この内容を見ていただきたいと思います。**

**２．ＪＲ九州との意見交換会**

**１０月１８日（火）、ＪＲ九州宮崎（４名）との意見交換会を行いました。当協会からは、小島理事長、甲斐副理事長、利用者田爪さんの３名が出席し意見交換しました。**

**ＪＲからは、視覚障がい者がＪＲを利用する場合に乗り降りの介助が必要であれば事前に連絡することで対応していただけること、また障害者手帳１級、２級の方は子供用乗車券で利用できるとの説明がありました。**

**当方からは、ホームの内包線をつけてもらうこと、列車時刻表をスマホの簡単操作で確認できるようにすること、特急の停車駅にスロープを設置すること、国体・障害者スポーツ大会が宮崎で開催される２０２７年までには、駅のバリアフリー化を進めていただくことについて、要望いたしました。**

**３．点字・オセロ競技大会のご案内**

**コロナ禍で開催ができなかった、点字・オセロ競技大会を３年ぶりに開催いたします。多数の参加をお待ちしています。**

**日時：令和５年１月２２日（日）９：００～（予定）**

**場所：宮崎県立視覚障害者センター**

**参加費：５００円（弁当代別途５００円）**

**競技種目：点字（一般の部・中級の部・初心の部）**

**オセロ（全盲の部・弱視の部）**

**申し込み：各団体長または、宮崎県視覚障害者福祉協会事務局（電話０９８５－２２－５６７０）**

**申し込み締め切り：令和５年１月６日（金）**

**４．点字カレンダーをいただきました**

**今年もUMKテレビみやざきより点字カレンダーをいただきました。今年のテーマは「日本の名山」です。センターだより、宮崎県広報、宮崎市広報の点字版を発送している方には年末までにお送りします。その他にご希望の方はご連絡ください。**

**５．知育玩具「スマートエッグ」を寄贈いただきました**

**ハンガリー発の知育玩具を取り扱いの小田亜希子様より「スマートエッグ」を使っていただきたいと寄贈いただきました。**

**小田さんが視覚障害者の方に寄贈されるようになったきっかけは、スマートエッグの発売当初、生まれつき全盲の**

**５０歳の方から小田さんに送られてきたメールだそうです。**

**メールには“自立して生きていくため「知識の積み重ねよ**

**りも、自由な発想で物事を捉え、解決への糸口を考えていかなければならない」”と書いてあり、まさにその手助けができるのがスマートエッグだと思ったそうです。また、その方のメールには全盲の状態で遊べるものとなると本当に限られてしまうが、このスマートエッグは視力をほとんど必要とせず指先に伝わってくる感覚だけが頼りのため遊びやすい製品と紹介されています。**

**使い方はたまごの表面には内側の空洞に繋がる穴や切れ込みが多数あり、空洞は迷路のように入り組んでいます。付属のスティックをたまごの頭の穴から通し、迷路を通ってたまごのおしりからスティックが抜けたらゴールです。スティックの両端は球形になっており、迷路の中を単純には進めません。スティックを動かしながら手に伝わる感覚と表面の穴の箇所を手掛かりにゴールを目指します。遊びながら「考える力」「記憶力」「指先能力」を鍛えます。**

**この「スマートエッグ」を興味のある方先着１２名に差し上げます。ただしセンターに取りに来ていただける方、または、送料を負担していただける方に限ります。**

**６．ウォーキング講座のご案内**

**ウォーキングの正しい知識とフォームを学ぶ講座が、**

**宮崎市スポーツ協会の主催で下記のとおり実施されます。**

**日時：令和５年１月２９日（日）１０：００～１２：００**

**場所：宮崎市総合体育館及び宮崎中央公園**

**（宮崎市宮崎駅東１－２－７）**

**内容：専門講師による足形測定とシューズの選定方法や**

**フォーム指導など**

**参加料：５００円**

**申込・問合せ：〒880-0879　宮崎市宮崎駅東１－２－７**

**（公財）宮崎市スポーツ協会**

**Tel: 0985-29-5603　Fax: 0985-29-5604**

**E-mail: gym@miyazaki-sports.or.jp**

**応募締切：令和５年１月２１日（土）　先着５０名**

**※当日は上履き及び屋外でのウォーキングができるシューズをご用意ください。**

**※この講座は、視覚障害者のみを対象としたものではありません。晴眼の方も参加できます。**

**７．****１２月、１月、２月の行事案内**

**１２月１０日　“こころ”のふれあうフェスタ２０２２**

**１１日　視覚障害者マラソン宮崎大会**

**１月２２日　点字・オセロ競技大会**

**未定　桜島杯視覚障害者卓球大会**

**次号の発行は令和５年２月２日の予定です。**